

1. 科目名 (単位数)	教育課程論 (初等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE1103 SJTC3411
2. 授業担当教員	伊藤 京一		
4. 授業形態	講義、討議や発表学習を中心に	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	「学校において編成する教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容や児童の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画である。」ことを理解するとともに、児童や地域の実態に即し目指す資質や能力を明らかにするとともに、カリキュラムマネジメントの視点から各教科の内容を教科横断的に組織する必要性について理解する。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について様々な視点で考えることができる。		
8. 学習目標	1. 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 2. 教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 3. 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	課題1: 経験主義と系統主義を比較してその違いを述べ、どちらの考え方が望ましいか述べなさい。 課題2: 道徳教育のあり方について考えを述べなさい。 課題3: 小学校の英語教育についてどのように考えるか述べなさい。 課題4: 自国の教育課程について考察しなさい。 *すべて1,000字程度		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説「総則」』東洋館出版。 【参考書】 小学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成 29 年 3 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 幼稚園教育要領(平成 29 年 3 月告示 文部科学省)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1 教育課程の意義について理解し、説明できる。 2 近代及び現代日本の教育課程の歩みと教育課程をめぐる現状と課題を理解し、説明できる。 3 学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解、説明できる。 4 指導案の作成、模擬授業の実施を通して、学習過程や成果などを PDCA サイクルにて考えることができる。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。		
12. 受講生へのメッセージ	学校教育の再生には、教育課程の現状と課題について考察し、改善に向けての方向性を明確にすることが重要である。教育課程の理論を学ぶと同時に、児童生徒の実態から具体的に理解を深めて欲しい。受講生の皆さんの努力を通して、知識・理解力だけでなく、思考力・判断力・表現力や探求心の育成に寄与したいと考える。		
13. オフィスアワー	講義の中で伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	○オリエンテーション ・「教育課程論」の目標及び学習内容と今後の予定、授業の進め方を確認する。	事前学習	シラバスを読み、講義概要を把握しておく。
		事後学習	学校での経験を振り返る。
第2回	○教育課程とは何か ・教育課程の定義について考える。 ○「教育課程論」を学ぶ意義を考える	事前学習	学校生活で時間割がある理由を考えておく。
		事後学習	「教育課程論」を学ぶ意義について復習する。
第3回	○学校教育の目的・目標は、どのようになっているか ・教育基本法・学校教育法など、目標に関する法規を基に学校教育の内容を考える。	事前学習	学校教育の目的・目標を調べる。
		事後学習	学校教育の目的・目標についてまとめる。
第4回	○学習内容はどのように決められているか ・学校教育法施行規則など教育内容にかかわる法規を調べる。	事前学習	教科書を読んでおく。
		事後学習	講義内容をふまえ、教育法規について、配布資料にまとめる。
第5回	○子供や家庭・地域の実態をどのように理解するか ・中教審答申の内容を読み取って、実態について考えあう。	事前学習	教科書を読んでおく。
		事後学習	国では、子供や家庭・地域の実態をどのようにとらえているのかまとめる。
第6回	○授業時数等はどのように決められているか ・学校教育法施行規則や教科書から授業時間の取扱いについて調べ、国語の時数が多い理由について考えあう。	事前学習	教科書を読んでおく。
		事後学習	授業時数の取扱、教科による時数の違いをまとめる。
第7回	○教育課程の基準の改善の考え方 ・教育課程の基になる【生きる力】について総則の比較対照表を基に調べ、資質・能力について考えあう。	事前学習	学習指導要領の総則を読んでおく。
		事後学習	「生きる力」の内容をまとめるとともに、見方・考え方の特徴をまとめる。
第8回	○教育課程の実施上の考え方 ・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善について、答申や総則を調べ、授業の質の向上を考える。	事前学習	学習指導要領の各教科・領域等の目標から、見方・考え方について調べておく。
		事後学習	主体的・対話的で深い学びと授業改善について整理する。
第9回	○言語活動の充実と教科指導 ・言語活動の充実と各教科の基礎的・基本的知識技能と思考力育成の関係について学びあう。	事前学習	旧学習指導要領解説(総則)の資料をもとに、習得型の授業と探究型の授業について調べておく。
		事後学習	言語活動の充実と思考力育成の関係をまとめる。

第10回	○体験活動の充実と学習指導の充実 ・教育課程における体験活動の意義について学び、学習指導にどのように生かすのか話し合う。	事前学習	学習指導要領の試案が出された、新しい教育の方向性の資料を読んでおく。
		事後学習	体験学習の充実と教科指導の関連をまとめる。
第11回	○児童の発達の支援 ・学級経営と生徒指導の関係から児童の発達の支援について学び、質を高めるための方策を考えあう。	事前学習	教育課程実施上の課題について、生徒指導の観点から調べておく。
		事後学習	学びの成立のためには学級経営が果たす役割が大きいことを整理する。
第12回	○学習評価の考え方と実施方法 ・学習評価について意義と役割を学び、実際にどのように実施されているのか、目標に準拠した評価を例に学ぶ。	事前学習	学習評価について教科書を読んでおく。
		事後学習	目標に準拠した評価の考え方を集団に準拠した評価と比べ、質を高める方法をまとめる。
第13回	○教育課程と道德教育の推進 ・教育課程における道德教育の位置づけや意義について話し合い、まとめる。	事前学習	道德教育について、教科書を読んでおく。
		事後学習	教育課程上の道德教育の役割をまとめる。
第14回	○カリキュラム・マネジメントと学校評価 ・教育課程のPDCAサイクルの意義を学び、学校評価の方法について法規を基に教育課程の充実の仕方について話し合う。	事前学習	カリキュラム・マネジメントについて、教科書を読んでおく。
		事後学習	学校評価の方法についてまとめをしておく。
第15回	○開かれた教育課程 ・開かれた教育課程の意味を調べ、学校と家庭や地域社会との連携の重要性について話し合う。	事前学習	学校で編成される教育課程について、その意義を教科書で調べておく。
		事後学習	開かれた教育課程を編成・実施・評価する方法について、レポートにまとめる。